



# 七里小だより

5月号

さいたま市立七里小学校  
令和3年4月30日

## 祝!! 開校 150 周年

さいたま市立七里小学校  
校長 保坂 泰司



令和3年度がはじまり、1か月が過ぎようとしています。昨年度とは違い子どもたちは、コロナウィルス感染症拡大防止対策をしながら、学校で元気に勉強や運動に取り組んでいます。我々教職員一同、子どもたちと生活し、子どもたちのよりよい成長を間近で見守ることができることに喜びとやりがいを感じています。これからも、引き続き感染拡大防止対策をしながら子どもたちの教育に取り組んでまいります。保護者の皆様も、どうぞお子様、ご家族の対策を徹底しながら楽しい日々をお過ごしください。

さて、先週の21日(水)に「開校150周年記念 バルーンリリース」が本校校庭で盛大に開催されました。まずは、実行委員長はじめ当日いろいろお手伝いいただいたPTA、N.O.A.(おやじの会)、そして地域・保護者の皆様に感謝申し上げます。七里小学校は、明治5年(1872年)に清浦奎吾先生を初代校長として迎え、風渡野村大円寺に「風渡野学校」として開校し、その歴史が始まりました。そして、今年度150年目を迎えました。いかに地域、保護者の皆様が七里小学校を温かく見守り大切にしてきたかを痛感させられます。七里小学校に対する皆様の想いを大切にしながら、我々教職員一同、日々子どもたちへの教育に取り組んでいく覚悟です。そして、「バルーンリリース」についてですが、各風船に子どもたち一人ひとりが書いた「自分の夢」の手紙を付け、それらは雲一つない大空に放たれました。一人ひとりの夢が実現されるよう、風船が遠くに行くまで皆で見続けました。子どもたちは開校150周年の節目に、夢の実現に向けて努力していく覚悟をした様子でした。(先日、放たれた風船が届いたとの報告を他県の方からいただきました。)

続きまして、またおめでたい話です。今年度さいたま市は、誕生20周年を迎えます。当初は、浦和市、大宮市、与野市の3市が合併してさいたま市が誕生しました。その後、岩槻市が加わって今のさいたま市になりました。そして、各10区の色は小中学生の投票で決まりました。見沼区は、「自然が豊かで澄んだ青空が広がっているから」との理由で、「そらいろ」に決定されました。そこで、さいたま市誕生20周年を記念して、さいたま市がスタートした5月1日が「さいたま市民の日」と制定されました。(今後は、学校が休みとなります。)この日の制定にあたり、本校ではさいたま市の成り立ちやその歴史等について、6年生が先頭に立ち全校の子どもたちみんなで学んでいきます。ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてください。

最後に、明日からゴールデンウィークが始まります。なな小「よいこのやくそく」や交通ルールを守って、楽しいお休みにしてください。事故等には十分気を付けてください。